



二年目突入記念「親子でなにわ新発見」 家族でベイエリアぐるっと紀行…の巻

今回は特別企画! ということで、夫と子どもを巻き込んでおでかけ取材をしてみました。好天にも恵まれた休日、行列には関係なく、ひたすら穴場をかけめぐら…。



休日を楽しむ人で満員のJR桜島線。「どこで降りるの?」という子どもの質問を聞き流して終点まで。イラストのかかれた電車の前で写真を撮れば観光気分も盛り上がります。ここから徒歩で10分あまり、天保山渡船場へ。市民の通勤、観光に無料で利用されています。対岸には海遊館が見え絶好のロケーション。昼間は30分間隔の運航で自転車もOK。乗組員の方と「風が気持ちいいですね」「でも冬は寒いよ」などと話している間のわず



か3分程で船の旅は終わり。着いたところは「日本で一番低い山」天保山です。一帯は公園になっていてお弁当スポットとして最適。食後は山頂まで登山です。山頂から5分も歩けば海遊館・マーケットプレイス到着。休日はレストラン、トイレなどどこも行列覚悟。お天気がよければテイクアウトして1階屋外の海沿いのベンチへ、比較的すいています。トイレも1階奥がならいめ。ただし、ベビーベッド等の設備は無いので注意してください。大阪名物の店を集めた「なにわ食いしば横丁」はいろいろなものを少しずつ、という人におすすめ。休日はジャグリングなどのパフォーマーが登場。海遊館入場待ちの時間も楽しく過ごせそう。



昼食をとったら地下鉄中央線「大阪港」駅方面へ。駅を越えさらに南東へ10分ほど歩くと「赤レンガ倉庫」が見えてきます。かつて貨物倉庫として造られたものが現在はアーティストの活動拠点となっています。

公演などはおもに夕方から夜にかけておこなわれますが、アート関係の資料を集めたライブラリーは水、金、土、日の13時~17時開館です。今はない出版社の本など貴重なものも。マンガもあります。重厚な造りの建物の中はひんやりしていて一息つきの最適。これからもさらに発展が期待できる注目のスポットです。

ここを出ると最後にして最大の難所、夕日がきれいに見える「なみはや大橋」です。「大阪ドーム」行きのバスに乗れば数分で通り過ぎてしまうのですが、徒歩での通行に挑戦!ぜひ夕方をねらってください。「第一突堤前」停留所から橋を渡って「鶴町2丁目」停留所まで約3キロの行程です。



ライブラリーについては
 アーツボリアライブラリー
 (6599-0170)まで。

(文・写真/ミズ・プランニング 梅木智子)

一日を終えて

約半日のコースです。小学校中学年くらいなら十分歩けます。

費用は驚くほどかかりません。大阪駅発着で交通費は大人540円でした。

JR「桜島駅」周辺の駐車場はすいていて穴場です。

JRでUSJまで一駅で。渡船で海遊館へ。

渡船場は天保山の他、市内に7ヶ所あります。

渡船事務所 (6531-0548)

海務課事務所(木津川渡船場のみ6572-4101)

